

[発行番号] 姫テ-シ-0095C
 [表題] DNV GL 船級規格 型式認定取得
 [発行] 2012年2月(2017年1月改訂C版)
 [適用機種] MELSEC-F FX3G シリーズシーケンサ

三菱電機マイクロシーケンサ MELSEC-F シリーズに格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、MELSEC-F FX3G シリーズ基本ユニット、機能拡張ボード、特殊アダプタ接続用アダプタ、メモリカセットおよびディスプレイモジュールが、DNV GL から Programmable Electronic System の型式認定に追加されましたのでお知らせします。

記

1. 対象機種

	機種
基本ユニット (AC 電源タイプ)	FX3G-14MR/ES, FX3G-14MT/ES, FX3G-14MT/ESS, FX3G-24MR/ES, FX3G-24MT/ES, FX3G-24MT/ESS, FX3G-40MR/ES, FX3G-40MT/ES, FX3G-40MT/ESS, FX3G-60MR/ES, FX3G-60MT/ES, FX3G-60MT/ESS
	[海外専用品] FX3G-14MR/ES-A, FX3G-14MT/ES-A, FX3G-24MR/ES-A, FX3G-24MT/ES-A, FX3G-40MR/ES-A, FX3G-40MT/ES-A, FX3G-60MR/ES-A, FX3G-60MT/ES-A
基本ユニット (DC 電源タイプ)	FX3G-14MR/DS, FX3G-14MT/DS, FX3G-14MT/DSS, FX3G-24MR/DS, FX3G-24MT/DS, FX3G-24MT/DSS, FX3G-40MR/DS, FX3G-40MT/DS, FX3G-40MT/DSS, FX3G-60MR/DS, FX3G-60MT/DS, FX3G-60MT/DSS
機能拡張ボード	FX3G-232-BD, FX3G-485-BD, FX3G-422-BD, FX3G-2AD-BD, FX3G-1DA-BD, FX3G-8AV-BD
特殊アダプタ 接続用アダプタ	FX3G-CNV-ADP
メモリカセット	FX3G-EEPROM-32L
ディスプレイモジュール	FX3G-5DM

2. 規格認定内容

下表に DNV GL 規格の認定内容を示します。

1) 認定内容

項目	内容
認定機関	DNV GL
認定番号*	-
分類	Programmable Electronic System
ルール*	-
有効期間*	-

* 認定番号、ルールおよび有効期間については、三菱電機 FA サイトをご参照ください。

2) 認定詳細

DNV GL 認定の MELSEC-F FX3G シリーズ基本ユニット、機能拡張ボード、特殊アダプタ接続用アダプタ、メモリカセットおよびディスプレイモジュールは、下記の環境で使用してください。

項目	内容	備考
EMC	EMC：船内の任意の場所（船橋および甲板を含む）	3. 制約事項

3. 制約事項

DNV GL 認定システムとして MELSEC-F FX3G シリーズ基本ユニット、特殊アダプタ接続用アダプタ、機能拡張ボード、メモ리카セットおよびディスプレイモジュールをお使いいただくばあいの制約事項についてご連絡致します。

船橋および甲板で使用するばあいは、「(1) 制御盤について (e)」と「(3) ノイズフィルタについて」の制限事項が追加されます。

(1) 制御盤について

- (a) 制御盤は導電性としてください。
- (b) 制御盤本体は、できるだけ太い接地線で接地してください。
- (c) 制御盤は、制御盤扉と本体との電氣的接触を確保してください。
そのために、扉と本体を太い渡り線で接続(導通)してください。(図1参照)
- (d) 制御盤は、電波の漏れを抑えるために極力隙間のない構造としてください。制御盤扉と本体の間は、EMI ガasketなどを取り付けて極力隙間のない構造としてください。
EMI ガasketを取り付ける際は、扉と本体の接触部分の塗装をはがし、EMI ガasket、導電性粘着テープを貼り付けてください。また、ケーブルの引込み穴などは、シールドカバーなどで覆ってください。(図1参照)
当社が行なった EMC 試験は、最大 46.8dB, 平均 26.4dB(30MHz ~ 2GHz, 3m 法測定) の減衰特性の盤に平均 69dB (150kHz ~ 100MHz) の減衰特性をもつ EMI ガasketを取り付けた状態で実施しています。

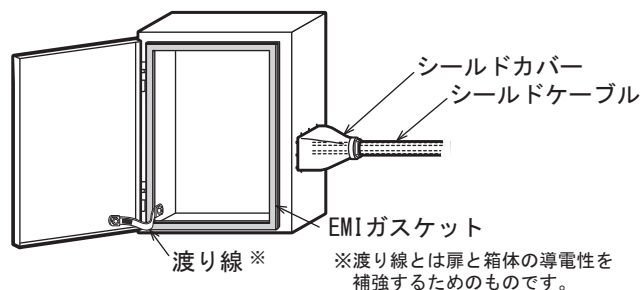


図1 制御盤の製作例

- (e) AC 電源タイプの基本ユニットを使用するばあいは、低周波数領域での減衰特性の高い制御盤を使用してください。**[船橋および甲板で使用するばあいの追加制約事項]**
当社が行なった EMC 試験は、上記 (d) 中に示した 30MHz ~ 2GHz の減衰特性に加え、150KHz ~ 30MHz で最大 23.32dB, 平均 19.9dB (3m 法測定) の減衰特性の盤で実施しています。
- (f) メンテナンス時などに制御盤内のシーケンサに触れる可能性があるばあいは、必ず除電を行い静電気の影響が無いようご注意ください。

(2) ケーブルについて

- (a) 制御盤から引き出されるケーブルは、必ずシールドケーブルを使用してください。
- (b) シールドケーブルおよびシールドカバーなどのシールドは、接地された制御盤へ接続してください。

(3) ノイズフィルタについて [船橋および甲板で使用するばあいの追加制約事項]

電源ラインにノイズフィルタを取り付けてください。(図4参照)

当社が行なった EMC 試験は、図2,3に示すようなコモンモード減衰特性をもつノイズフィルタで実施しています。

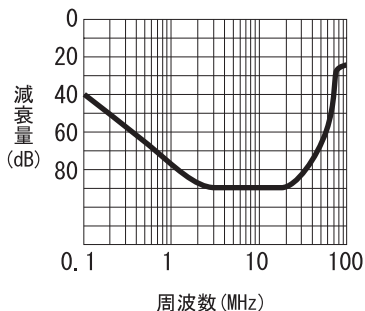


図2 基本ユニット (AC 電源タイプ) 用ノイズフィルタの減衰特性例

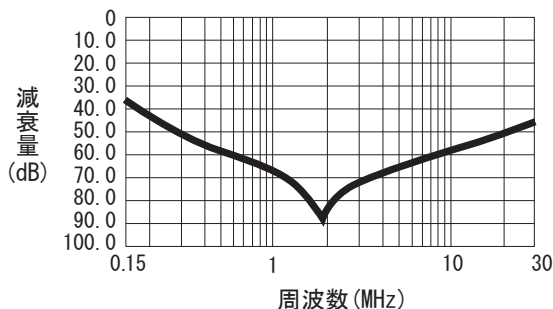
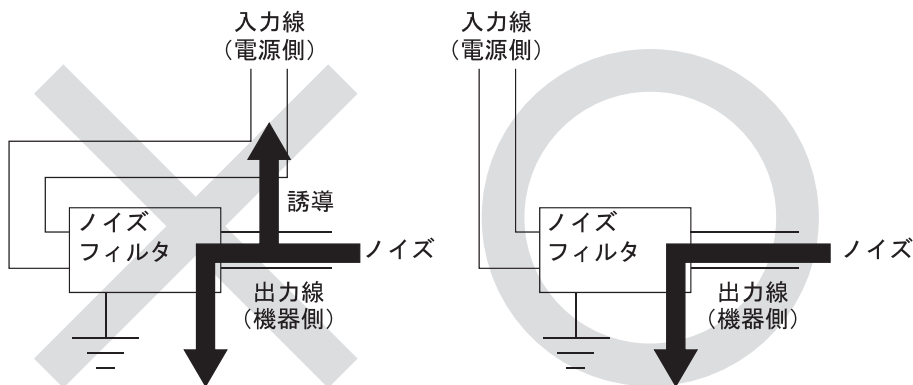


図3 基本ユニット (DC 電源タイプ) 用ノイズフィルタの減衰特性例

(a) ノイズフィルタの入力線 (電源側) と出力線 (機器側) は分離してください。

入力線と出力線を束線したり、近くに布線したりするとノイズフィルタでノイズを除去した入力線に出力線のノイズが誘導され、期待した効果が得られません。



入力配線と出力配線が結束されるとノイズが誘導される。

入力配線と出力配線を離して布線する。

図4 ノイズフィルタの注意事項

(b) ノイズフィルタの接地線は、できるだけ短い配線で接地してください。

改訂履歴

副番	発行年月	改訂内容
A	2012年2月	初版作成
B	2015年11月	お問い合わせ先の記載内容を更新
C	2017年1月	認定内容の記載内容を変更

[発行番号] 姫テ-シ-0095C

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

本社	〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)	(03) 3218-6760
北海道支社	〒060-8693 札幌市中央区北二条西4-1 (北海道ビル)	(011) 212-3794
東北支社	〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20 (花京院スクエア)	(022) 216-4546
関東支社	〒330-6034 さいたま市中央区新都心11-2 (明治安田生命さいたま新都心ビル ランド・アクセス・タワー 34F)	(048) 600-5835
新潟支社	〒950-8504 新潟市中央区東大通2-4-10 (日本生命ビル)	(025) 821-7227
神奈川支社	〒220-8118 横浜市西区みなとみらい2-2-1 (横浜ランドマークタワー)	(045) 224-2624
北陸支社	〒920-0031 金沢市広岡3-1-1 (金沢パークビル)	(076) 233-5502
中部支社	〒450-6423 名古屋市中村区名駅3-28-12 (名古屋ビルヂング)	(052) 565-3314
豊田支社	〒471-0034 豊田市小坂本町1-5-10 (矢作豊田ビル)	(0565) 34-4112
静岡支店	〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25 (エスパティオビル)	(054) 202-5630
関西支社	〒530-8206 大阪市北区大深町4-20 (グランフロント大阪タワーA)	(06) 6486-4122
中国支社	〒730-8657 広島市中区中町7-32 (ニッセイ広島ビル)	(082) 248-5348
四国支社	〒760-8654 高松市寿町1-1-8 (日本生命高松駅前ビル)	(087) 825-0055
九州支社	〒810-8686 福岡市中央区天神2-12-1 (天神ビル)	(092) 721-2247

三菱電機 FA
検索

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

メンバー登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

三菱電機FA機器電話、FAX技術相談

●電話技術相談窓口 受付時間*1 月曜～金曜 9:00～19:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

対象機種	電話番号	対象機種	電話番号
MELSEC iQ-R/Q/L/QnA/Aシーケンサ全般	052-711-5111	MELSERVOシリーズ	052-712-6607
MELSEC iQ-F/EX/Fシーケンサ全般	052-725-2271*2	位置決めユニット (MELSEC iQ-R/Q/L/Aシリーズ)	
ネットワークユニット/シリアルコミュニケーションユニット	052-712-2578	シンプルモーションユニット (MELSEC iQ-R/Q-F/Q/Lシリーズ)	
アナログユニット/温調ユニット/温度入力ユニット/高速カウンタユニット	052-712-2579	モーションCPU (MELSEC iQ-R/Q/Aシリーズ)	
MELSOFTシーケンサ プログラミングツール	MELSOFT GXシリーズ 052-711-0037	センシングユニット (MR-MTシリーズ)	
MELSOFT 統合エンジニアリング環境	MELSOFT iQ Works (Navigator)	シンプルモーションボード	
MELSOFT 通信支援ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ	C言語コントローラ	
MELSEC iQ Sensor Solution	Q80BDシリーズなど 052-712-2370*3	インタフェースユニット (Q173SCCF)/ポジションボード	
MELSEC iQ-R/Q二重化	プロセスCPU (MELSEC iQ-R/Qシリーズ) 052-712-2830*2*3	MELSOFT MTシリーズ/ MRシリーズ/EMシリーズ	
MELSEC Safety	安全シーケンサ (MELSEC iQ-R/QSシリーズ) 052-712-3079*2*3	センサレスサーボ	
電力計測ユニット/絶縁監視ユニット	安全コントローラ (MELSEC-WSシリーズ) 052-719-4557*2*3	インバータ	
センサ MELSENSOR	レーザ変位センサ 052-799-9495*3	FREQROLシリーズ	
表示器	GOT-F900/DUシリーズ 052-725-2271*2	三相モータ	
	GOT2000/1000/A900シリーズなど 052-712-2417	三相モータ225フレーム以下	
	MELSOFT GTシリーズ	ロボット	
		MELFAシリーズ	
		電磁クラッチ・ブレーキ/テンションコントローラ	
		データ収集アナライザ	
		MELQIC IU1/IU2シリーズ	
		低圧開閉器	
		MS-Tシリーズ/MS-Nシリーズ	
		US-Nシリーズ	
		ノヒューズ遮断器/漏電遮断器/MDUブレーカ/気中遮断器 (ACB) など	
		電力管理用計器	
		電力量計/計器用変成器/指示電気計器/管理用計器/タイムスイッチ	
		省エネ支援機器	
		EcoServer/E-Energy/検針システム/エネルギー計測ユニット/B/NETなど	
		小容量UPS (5kVA以下)	
		FW-Sシリーズ/FW-Vシリーズ/FW-Aシリーズ/FW-Fシリーズ	

お問い合わせの際には、今一度電話番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願い致します。
 ※1: 春季・夏季・年末年始の休日を除く ※2: 金曜は17:00まで ※3: 土曜・日曜・祝日を除く ※4: 月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30
 ※5: 受付時間9:00～17:00 ※6: 月曜～金曜の9:00～17:00

●FAX技術相談窓口 受付時間 月曜～金曜 9:00～16:00 (祝日・当社休日を除く)

対象機種	FAX番号
電力計測ユニット/絶縁監視ユニット (QE8□シリーズ)	084-926-8340
三相モータ225フレーム以下	0536-25-1258*7
低圧開閉器	0574-61-1955
低圧遮断器	084-926-8280
電力管理用計器/省エネ支援機器/小容量UPS (5kVA以下)	084-926-8340

三菱電機FAサイトの「仕様・機能に関するお問い合わせ」もご利用ください。
 ※7: 月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30 (祝日・当社休日を除く)

本マニュアルは、輸出する場合、経済産業省への役務取引許可申請は不要です。

安全に関するご注意

本テクニカルニュースに記載された製品を正しくお使いいただくためご使用前に必ず「マニュアル」をよくお読みください。

・本資料に記載してある会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。